

平成31年度

# 施政方針

羽曳野市長 北川 嗣 雄

平成31年羽曳野市議会第1回定例会の開会にあたり、平成31年度の市政運営の基本方針と主な施策をお示しし、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

《はじめに》

本年1月、羽曳野市は市制施行60周年を迎えました。

これまで1年間、様々な記念事業に取り組み、市民の皆様とともにまちの歴史を振り返り、成長をお祝いし、また、感謝をお伝えできましたことは、私にとりましても、誠に大きな喜びでありました。

これもひとえに、市議会議員の皆様、市民の皆様をはじめ、まちづくりに関わる全ての方々のご理解とご協力によるものと、心より感謝を申し上げます。

さて、市長就任以来、赤字財政を立て直し、健全な財政運営に努めてまいりました。しかしながら、本市の財政状況については、国・府からの依存財源が6割を超え、市税等の自主財源を大きく上回るという財政構造は今後も変わらず、社会保障費の増大や公共施設の更新等に多額の財政需要が見込まれます。行政としての継続性を確保し、将来世代に引き継ぐためには、これまでの行財政改革の成果に満足することなく、事業の「**選択と集中**」と「**不断の改革**」が重要であります。

このような状況の中でも、しっかりと未来を見据え、**第6次羽曳野市総合基本計画**におけるまちの将来像『**ひと、自然、歴史文化を育み笑顔輝く はびきの ～みんなでつくる だれもが住みたいまち～**』をめざして、今後も、議員各位並びに市民の皆様のお力添えをいただきながら、市政運営に取り組んでまいりたいと存じます。

## 《本市を取り巻く社会経済情勢と市政運営の基本方針》

本年4月30日、憲政史上初めて、天皇陛下が御退位され、皇太子殿下が5月1日に御即位されます。明治、大正、昭和、平成、そして、次の新たな時代が始まります。

本年6月には、日本が初めて議長国となり、主要国のリーダーが一堂に会する主要20カ国・地域首脳会議（G20サミット）が大阪で開催されます。また、来年、日本にやってくる復興五輪、その聖火リレーは、東日本大震災の被災地である福島からスタートし、全都道府県を巡り、開催地の東京に入ることとなります。そして、2025年には、大阪・関西万博が55年ぶりに大阪で開催されます。このように日本、関西、また大阪が、これまで以上に世界に注目される、躍動感あふれる時代の幕開けと言えます。

さて、政府は、1月の月例経済報告を発表し、国内経済の基調判断を、「緩やかに回復している。」として据え置き、その結果、今回の景気拡大は、戦後で最も長くなった可能性が高いとの見解を示しました。ただし、賃金や消費は停滞しており、過去の好景気に比べると、成長率は低く、豊かさの実感は薄いと言われていています。また、追い風になってきた海外の景気は、米中摩擦を背景に中国経済が減速し、先行きは不透明な状況であるとされています。

このような状況のもとで、我が国の持続的な成長にとって、最大の課題は、世界で最も速いスピードで進む少子高齢化であります。

政府は、この少子高齢化を克服して、「全世代型社会保障制度」を築き上げるためには、安定的な財源の確保が必要であると判断し、本年10月から消費税率を8%から10%に引き上げる方針を表明しました。

これにより、平成31年度の国の当初予算は101兆4,571億円となり、初めて100兆円の大台を突破しました。その主な要因は、医療、介護などの社会保障費の増大や、幼児教育・保育無償化の拡大に加え、プレミアム付商品券の発行など増税対策であり、私たちの暮らしに直接的に関わる様々な施策が盛り込まれています。

一方、税収は、過去最大の62兆4,950億円を見込んでいますが、歳入の3割以上を借金で賄う財政難は続いている状況です。

我々、基礎自治体においては、少子高齢化、人口減少社会のもとで、多様化・高度化する市民ニーズ等に的確に対応するため、今後とも改革を推進していかなければなりません。

そこで、本市においては、新たな**行財政改革大綱**の策定に取り組んでいます。“安定した行財政運営”とともに、常に“新たな羽曳野づくり”に取り組むことで、「持続的に発展するまち」をめざします。

また、まもなく折り返しの時期を迎える**第6次総合基本計画**については、将来を見据えた施策をさらに前進させるために、社会経済情勢を踏まえつつ、市民ニーズをしっかりと把握したうえで、**後期基本計画**の策定に取り組んでまいります。

**第6次総合基本計画**においては、まちの将来像の実現のために、

**「羽曳野の資源を活かしたまちづくり」**

**「だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり」**

**「人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり」**

という、**3つのまちづくりの戦略**を掲げています。これらを基軸に、

**「魅力」、「安心」、「未来」**を幸せむすぶキーワードとして、具体的な施策を積極的に展開してまいります。

## 《重点的な施策》

### キーワード「魅力」

本市には、古市古墳群をはじめ、竹内街道や東高野街道といった数多くの歴史的資産があり、豊かな自然にも恵まれています。また、ぶどうやいちじく、碓井えんどう等の農産物、ワインやさいぼし等の特産品も豊富にあります。このような素晴らしい地域資源を市内外の多くの方に「魅力」と感じていただけるよう、その価値の向上を図り、効果的に発信していく取り組みが必要であると考えています。

**世界文化遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群**については、本年5月にイコモスからの評価結果の勧告を受け、7月にユネスコ世界遺産委員会で審議され、登録の可否が決定される運びとなります。

来訪者を迎え入れるための環境整備にあたっては、一度きりではなく、何度も訪れていただけるよう、地域全体のホスピタリティの向上をめざし、市民の皆様と協力して取り組むとともに、大阪府、堺市、藤井寺市とのさらなる連携を図ります。

日本遺産に認定されました**竹内街道**については、沿道自治体と連携しながら、来訪者に対する周遊性の確保と利便性の向上に取り組むとともに、駒ヶ谷駅西側公園で開催する**“はびきの”の夕べ**や古市駅東広場の**観光案内所**などにおいて、街道の魅力を発信してまいります。

白鳥陵古墳と竹内街道に隣接している**浅野家住宅（旧オキナ酒造）**については、その立地や歴史的価値を活かした施設改修を行い、観光・産業・交流の拠点として再生します。

また、その拠点の運営主体となる**羽曳野版DMO**については、多様な事業者と参画・連携を進めながら、「交流人口の増加による賑わいや雇用の創出」と「定住意識の向上と移住の促進」に向け、総合的かつ戦略的に事業を展開してまいります。

## キーワード「安心」

超高齢社会において、一人ひとりが主体的に健康寿命の延伸に取り組むため、**L I C ウェルネスゾーン**や**はびきのウェルネス事業**、**いきいき百歳体操**などの介護予防事業を展開しています。

それぞれの事業については、多くの市民の皆様にご参加いただき、特に、いきいき百歳体操は、3会場でスタートし、今では65会場で開催されるまでに広がりを見せています。

健康づくり・介護予防がより身近なものとなり、いつまでも健康で活躍できるまちづくりをめざして、今後とも取り組んでまいります。

近年、記録的な集中豪雨、異常なまでの猛暑、強力な台風、大規模な地震等の自然災害が、全国各地で相次いで発生しています。特に、昨年9月、25年ぶりに非常に強い勢力で上陸した台風21号は、近畿地方を縦断し、本市にも大きな被害をもたらしました。

災害から市民の命と暮らしを守るためには、職員自らが災害発生時に迅速かつ的確に対応できるよう、災害対応能力を向上させる必要があります。本市では、昨年7月の西日本豪雨において、甚大な被害を受けられた広島県坂町に、職員の派遣を行っています。こうした支援を通して、災害復旧の術を学び、復興の様子を肌で感じる、そして、この経験や知識を共有することで、防災体制の強化へとつなげてまいります。

市民自らが取り組む「自助」、地域で取り組む「共助」への意識を高め、平常時から災害に備えていただくため、中学校区を単位として**防災講演会**を開催しています。一昨年から毎年1ヶ所ずつ巡回し、3年目となる本年も、引き続き開催いたします。

また、減災への取り組みとして、昨年6月の大阪北部地震を教訓に、地震発生時に倒壊の恐れがある**ブロック塀の撤去等**を順次進めてまいります。

## キーワード「未来」

妊娠期から出産・子育て期にわたって、切れ目のない支援を提供するため、本年1月、**子育て世代包括支援センター**を開設しました。保健師等の専門職が相談窓口となり、必要な情報を提供するとともに、支援が必要な方には、関係機関と連携しながら一人ひとりの状況に応じたきめ細やかなサポートを行ってまいります。

今後の公立幼稚園・保育園については、**就学前教育・保育のあり方に関する基本方針**の策定に取り組んでいます。

大幅に減少している幼稚園児の適正な集団活動の確保と保育園における継続的な待機児童ゼロの実現を図り、子どもたちが、より円滑に小学校へ進むことができることをめざしています。これらを実現するため、保護者の就労の有無に関わらず、子どもの発達や学びの連続性を確保し、就学前の教育・保育を提供できる認定こども園への移行を基本に取り組んでまいります。

昨年4月に、認定こども園として「こども未来館たかわし」を開設いたしました。この取り組みも踏まえ、「(仮称)西部こども未来館」の早期整備を進めてまいります。

**公立幼稚園の3歳児保育**については、昨年、こども未来館たかわしと埴生幼稚園において開始しました。本年は駒ヶ谷幼稚園、来年は羽曳が丘、高鷲南幼稚園において開始してまいります。

昨年4月に開校した**義務教育学校「はびきの埴生学園」**では、併設する埴生幼稚園も含め、施設一体型の環境の中で、子どもたちの成長に応じた一貫教育を行っているところです。本年4月からは、市内全域からの通学が可能となる**小規模特認校制度**を開始し、9年間の一貫した特色ある教育の機会を提供してまいります。

平成のその先へ向かう大きな節目となる年にあたり、私は、市民の安全で**安心**な暮らしをしっかりと守り、まちの**魅力**を一段と高め、そして、活力と希望にあふれる**未来**を見据え、「**選ばれるまち**」としての持続的な発展を確実なものにしてまいりたいと考えています。



## 《平成31年度の主要な取り組み》

それでは、平成31年度の主要な取り組みについて、第6次総合基本計画に掲げる7つの「施策目標」に沿って、ご説明申し上げます。

### 第1は、「快適でうるおいのある 住みよいまち」です。

- ① 市営住宅については、**向野住宅の集約建替**に向けて、計画用地となる**東住宅2号棟、3号棟の解体**に着手します。
- ② 恵我ノ荘駅周辺においては、安全性の確保と利便性の向上のため、引き続き都市計画道路**恵我之荘駅前南側線の歩道整備**を大阪府と共同で進めるとともに、**駅前南側広場の整備**を推進します。  
また、**市道恵我之荘69号線**については、地域の防災性の向上を図るため、隣接する公園を含めた一体的な整備に向けて、用地取得を進めます。
- ③ 平成31年度末に閉園予定の高鷲北幼稚園については、**花と緑あふれる憩いの空間**としての整備に向けた**基本設計**を行い、防災機能を備えた地域の交流拠点づくりをめざします。
- ④ 水道事業では、**第6次水道施設整備事業**に基づき、**伊賀受水場ポンプ棟の耐震診断**など、計画的な施設の管理・更新を推進しながら、将来にわたり安全で安定した給水の確保をめざします。
- ⑤ 公共下水道事業では、衛生的で快適な生活環境を確保するため、汚水整備について、年次計画に基づき着実に推進するとともに、雨水整備については、**整備基本計画を策定**し、浸水対策を進めます。  
また、ストックマネジメントに基づき、**碓井ポンプ場の耐震、管路・設備の更新にかかる実施計画を策定**するなど、計画的かつ効率的な維持管理に取り組みます。

## 第2は、「地域がつながり 安全で心安らぐまち」です。

- ① 災害発生時に速やかな避難等と呼びかけるなど、必要な行政情報を市域に発信する**同報系防災行政無線のデジタル化**について、市内全局の再整備を完了させます。
- ② 昨今の災害からの教訓を踏まえ、大規模な災害の発生に対応できる機動性及び連動性を備えた組織体制を確保するため、**地域防災計画を見直**します。
- ③ 地震発生時に倒壊の恐れのある**ブロック塀**については、学校をはじめ市内公共施設において、**順次撤去・更新を実施**するとともに、民間住宅等における**撤去費用の補助制度を継続**し、安全性の確保を図ります。

## 第3は、「ともに支え合い 健やかに暮らせるまち」です。

- ① 発達障害児等の家族に対する支援の充実を図るため、**ペアレントサポート事業**として、同じ経験を持つ保護者による講習会を開催し、経験談からの助言や情報提供等を行うことで、共感的な理解を深められる機会を設けます。
- ② **高年生きがいサロン**については、各館を取り巻く環境を十分に見極め、より柔軟に地域のニーズに応じられる身近な健康・福祉の拠点としての施設利用を検討します。
- ③ **高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種**については、65歳から5歳ごとの未接種の方に対する定期接種に加えて、再接種を希望される75歳の方に対する**接種費用の一部公費助成を開始**します。

#### 第4は、「未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち」です。

- ① 子どもたちの健やかな育ちと子育てを総合的・計画的に支援するため、**第2期子ども子育て支援事業計画「はびきのこども夢プラン」**を策定します。
- ② 質の高い総合的な就学前教育・保育をさらに推進するため、認定こども園（仮称）**西部こども未来館の整備**に取り組みます。
- ③ **駒ヶ谷小学校内に設置した幼稚園ルーム**において、交流活動などを実施することにより、幼・小のさらなる連携強化を図ります。
- ④ 学校施設管理の中長期的な方向性を示す**学校施設長寿命化計画**を策定し、費用の縮減及び予算の平準化を図りながら、施設の維持管理を着実に推進します。
- ⑤ **高鷲、埴生南小学校**において、体育館施設の天井や照明器具等の**非構造部材にかかる耐震化工事**を実施し、安全性の向上を図ります。
- ⑥ **普通教室へのエアコン設置**については、**西浦、丹比、白鳥、古市南、恵我之荘、高鷲北小学校**で実施し、全ての学校における設置を完了させることにより、快適な学習環境の確保を実現します。
- ⑦ 施設・設備の老朽化が進む**給食センター**については、より安全で安心なおいしい学校給食を今後も提供するため、新築移転に向けた**基本構想**を策定します。
- ⑧ **留守家庭児童会**において、主に児童の学習や高学年対応への支援を強化するため、**退職教員等をスタッフとして起用**し、その経験やスキルを活かした指導を実施します。

第5は、「魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち」です。

- ① 独自に撮影したドローン映像を活用し、**地域の情報についての動画を作成・発信**することにより、本市の認知度向上を図ります。
- ② 本市の魅力を掘り起こし、市内外に広くPRするため、市民が参加できるテレビイベント「出張！なんでも鑑定団 in 羽曳野」及び「俳句王国がゆく」の公開収録をL I Cはびきのにて開催します。
- ③ **浅野家住宅（旧オキナ酒造）**については、お肉やワインなどの特産品を活用した地産地消のレストランやアンテナショップなどを備えた、観光・産業・交流を促進する拠点施設としての再生をめざします。

また、その施設運営の主体となる、羽曳野版DMO（仮称）**はびきの観光・移住創造かんばん**に一を設立し、地方創生へと繋がる様々な事業を展開します。

- ④ 外国人来訪者への対応として、観光案内所に**音声翻訳機を設置**するほか、専門家の指導により市内の歴史資産への見識を深めるなど、**観光ボランティアガイドの育成**を図ります。
- ⑤ 大阪府立環境農林水産総合研究所への交流派遣により習得した専門的な技術や知識を活かし、観光農園・道の駅等における**果樹や花苗の育成事業を拡充・発展**させることにより、さらなる賑わいの創出や観光資源の発掘をめざします。
- ⑥ 市内の中小企業のさらなる振興を図るため、**羽曳野市中小企業振興基本条例を制定**し、地域資源を活かした創業や新規事業の創出等を支援します。

**第6は、「歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち」です。**

- ① **百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録**に向け、百舌鳥古墳群との相互アクセスの改善や古墳群周辺区域における良好な景観形成の誘導等について、市民や地域の商店等と連携しながら来訪者のための環境整備を推進します。
- ② **古市古墳群構成資産**の保存と継承を図るため、**墓山古墳**について史跡指定地の**公有化**を推進するとともに、**峯ヶ塚古墳**については、墳丘造出部の**発掘調査及び測量を実施**します。
- ③ 新たな市民プールについては、第1期整備としての**管理棟等の建設**に続き、第2期整備として**屋内温水プールの整備に向けた基本計画を策定**します。  
また、整備期間中には、**はびきの埴生学園と駒ヶ谷小学校**のプールを**無料開放**します。
- ④ 中央図書館において、国立国会図書館が保有する貴重な**デジタル化資料を閲覧・複写**することができるサービスを開始し、市民の生涯学習環境の充実を図ります。

**第7は、「市民とともに築く 自立したまち」です。**

- ① 業務の効率化や事務処理ミスの防止を図るため、定型的なパソコン操作業務をソフトウェア・ロボットにより自動化できる、**RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）**を**試験的に導入**し、その費用対効果や安定性・安全性についての検証を行います。
- ② 第6次総合基本計画については、**後期基本計画**の策定に向けて、市民アンケート等、市の現況についての**基礎調査に着手**します。

- ③ 納税者の利便性の向上を図るため、複数の地方公共団体への地方税の納税を一度の手続きで行うことができる、**地方税共通納税システムを導入**します。
- ④ 市民の疑惑や不信を招くような行為を防止し、公務に対する信頼を確保するため、**羽曳野市長等政治倫理条例**及び**羽曳野市職員倫理条例を制定**し、公正な職務の執行について徹底して取り組みます。

《むすびに》

以上、平成31年度の施政方針を申し述べました。

本方針に基づき、今定例会に提案させていただいております「平成31年度当初予算案」をはじめ、各議案につきまして、ご審議の程、よろしく願い申し上げます。

本年5月、新元号となる日本は、新たな時代をスタートさせます。

改めて「平成の羽曳野」を振り返りますと、道の駅しらとりの郷・羽曳野、健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場、駒ヶ谷駅西側公園、古市駅東広場のオープン等のハード整備に加え、軽トラ市、はびきのウェルネス事業、日本遺産「竹内街道」の魅力発信を図る連携事業等のソフト事業の取り組みにより、人が集い、賑わい、交流する、活気あふれるまちへと、一步一步、確実にその歩みを進めてまいりました。

**「継続は力なり」**、これまでの弛まぬ努力により花開いた施策が、次の時代において、さらに前進し、実を結ぶよう、また未来においても、羽曳野が、しっかりと花を咲かせるよう、好循環を生み出す施策を、着実に、そして誠実に展開してまいります。

どうか議員各位並びに市民の皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。